

## 伝え方を工夫!

### 2019年度の児童会役員選挙

今年度、私たちは、子どもたちに「プレゼンテーション能力・コミュニケーション能力・ファシリテーション能力」の3つをつけたい力として教育活動を進めてきました。その中のプレゼンテーション能力の育ちが見えたのが今回の児童会選挙でした。立会演説の場面で、ほとんどの候補者が「私の考えは3つあります。その理由は・・・。」というように伝えていたことです。

これは、相手に分かるように伝えるための発言の仕方として、担任が子どもたちに指導していることです。それが、今回の児童会選挙の場面で活かされた瞬間でした。

「型は技術を高める」といわれるように、基本の型を身に着けたら、後は応用するだけです。立会演説に臨んだ子どもたちは堂々として輝いていました。

投票の結果、以下のように役員が決まりました。期待しています。



### 発信! 「ふるさと・キャリア」

3月3日に、今年度の最後の参観日、「ふるさと・キャリア教育」参観日を行いました。保護者・地域の皆さんの多くの参

加で、盛り上げていただきましたことを感謝いたします。子どもたちも緊張の中にも、張り切っていた姿が見えました。

1・2年生は、地域の方と一緒に学校畑で育てた冬野菜を使った料理で、保護者・地域の皆さんにおもてなし。

3年生は、地域のよいところについて調べたことを発表。

4年生は、らっきょうレシピづくりについての取り組みとその思いについて発表。

5年生は、地域の産業である黒砂糖と防災缶詰について調べたことをプレゼン。

6年生は、入野の未来について考えたことを提案。

この取り組みは、教室での学びを基に、教室から飛び出して、地域の人と出会い、交流し、学び合うことを通して地域愛の芽生えを期待するとともに、地域のことや社会のことについて関心を持って、よりよい社会の担い手・創り手として育ててくれることを願っています。

授業を参観していただいた学校運営協議会の委員さんからは、「1学期に比べ、子どもたちは、ずいぶん成長している」「はっきり堂々と発表できていた」「パワーポイントを使った高度な授業に驚いた」「席に座るよう案内してくれる心遣いに感動した」「取材に対するお礼をいってくれて感動した」、また、ぜひこの「ふるさと・キャリア教育」の取り組みのテーマを掘り下げて、突っ込んだ学びを期待するなど、お褒めと激励の言葉をいただきました。



そして、来年度は、「ふるさと・キャリアイベント」として、バージョンアップする予定です。大方高校を会場に大方中央保育所・入野小学校・大方中学校・大方高校・保護者・地域・行政・関係機関等が一堂に会して、学びの場、教育祭の開催です。

町民総がかりで子どもたちを見守り、育てる町民運動としての「ふるさと・キャリア

ア」教育に是非ともご支援・ご協力をお願いいたします。